

「全員参加でさらなる活力」



国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ
TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB.

2011 年(平成 23 年)11 月 16 日(水)
第 1051 回 例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (梶野 峰雄副 SAA)

●開会点鐘 (佐藤 義弘会長)

●ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

●本日のお客様

東京武蔵国分寺ロータリークラブ
RI2750 地区ロータリー財団委員長 鈴木 義明様



東京昭島ロータリークラブ
RI2750 地区ロータリー財団
副委員長 安保 満様

●会務報告 (佐藤 義弘会長)



11 月 14 日(月)新会員セミナーが新宿ハイアットリージェンシーにて開催されました。前澤増強委員長をはじめ、荒川会員、伊藤会員、岡野会員、小島会員、田畑会員、富田会員、渡邊会員に行っていただきました。

前回の例会で、米山梅吉記念館の 100 円寄付を皆様にお願いしましたところ、2,900 円の寄付をいただきました。さっそく送りましたらお礼の葉書が届きました。ご協力ありがとうございました。

2012 年 2 月 13 日(月)5 クラブ合同例会(井の頭・昭島中央・武蔵国分寺・小金井さくら・国立白うめ)を開催予定です。当初、前澤増強委員長より先日卓話にお見えになった東京恵比寿ロータリークラブの石井義興地区会員増強・クラブ拡大委員長にお願いをして、司葉子様に卓話を依頼しておりましたが、所用とのことで松島トモ子様に来ていただくことになりました。実現をすれば、奥様同伴例会ということで盛大に行いたいと思います。

11 月 20 日(日)10 時半より車椅子の整備がごさいます。こちらの内容はガバナー月信インターネット版の 1 月号に掲載予定です。出来るだけ多くのご参加をよろしく願いいたします。

●幹事報告 (蜂巣 義和幹事)



12 月 6 日(火)東京中央ロータリークラブオープンゴルフコンペが桜ヶ丘カントリークラブで開催されます。

当クラブの定款・細則を皆さん入会されてからご覧になったことがないと思いますが、その製本化を進めております。出来上がりましたら、皆さんにお配りする予定です。

●卓話 「ロータリー財団について」
RI2750 地区ロータリー財団委員長 鈴木 義明様



本日は 3 つのテーマに分けてお話をさせていただきます。

★東日本復興基金と義援金

3 月 15 日、国際ロータリー財団からロータリー日本太平洋諸島地震災害基金という名称で基金の要請がありました。それと同時に地区からは義援金のお願いがあり、ロータリーとしては 2 つの要請があったわけです。私共のクラブも当時、財団に寄付をするか地区ガバナー会を経由して寄付をするか迷いました。しかし、財団は申請から時間が掛かります。やはり、被災者の方々にすぐに手を差し伸べられるのは義援金だろうということになりました。

地区に送られた義援金の扱いは片倉年度より大きく変わりました。それまでは育英資金で使いたいという話がありましたが、約 23 億掛かるそうで、今年度のガバナー会はそれよりも一刻も早く現金を被災地に送るべきだということで 2750 地区を含め、18 地区が全額返還をしていただきました。戻ったお金はどうするべきか色々な議論がありました。クラブに返還するべきか、復興委員会で管理しプロジェクトとして被災地を支援すべきかなどです。義援金と基金は違いますから、基金はものをつくるプロジェクトそのもののことですが、義援金というのは違います。すでに被災者の手に渡っていなければならないものです。しかし、片倉ガバナーの「この義援金に関しては真心と大きな福利をつけて被災地に送りたい、

この復興委員会の手でそれを届けましょう」という強いお気持ちで全てが決まりました。もちろん、そこに至るには様々な議論を戦わせております。

現在約 9,600 万円が地区に残っているわけですが、各クラブから拠出していただいた義援金の半分は各クラブの復興プロジェクト資金として無条件でお使いいただけます。残りの半分（B 資金）は A 資金では足りないプロジェクトに一応の審査を経てお使いいただける分です。2012 年 3 月 31 日まで申請が可能ですので、是非この資金を利用いただき、昭島中央クラブさんとして東日本の皆さんに想いを届けていただければと思います。

★ロータリー財団

ロータリー財団というのは略語でございまして、正式には国際ロータリーのロータリー財団と申します。我々が属している国際ロータリーの下部組織になるわけです。第 3 者のご寄付もございしますが、基本的には皆さんのご寄付で成り立っています。

皆さんは年間どのくらい国際ロータリーにお金を払っているのでしょうか。皆さんの人頭分担当金 49 ドルで運営されています。その他に地区人頭分担当金として 12,500 円を皆さんは払っています。国際ロータリーは財団とは活動が全く違います。財団は皆さんの寄付を運用し、その運用益で活動をしております。何が言いたいのかと申しますと、財団への 100 ドル寄付がなければ 49 ドルと 12,500 円だけで終わってしまうということです。もちろん、地域などへの奉仕はやっているのですが、それだけで奉仕というのはどうなのかという気もいたします。

皆さん、大きな奉仕をするということは、小さな奉仕の積み重ねで成り立っているのだということを忘れないでください。100 ドルの寄付をすることによって、皆さんが何かをやらなくてもそのお金を利用し、他のクラブの方達が世界を助けています。ポリオの 2 億ドルチャレンジに関しては、来年の 6 月で終了しますが 100%達成で終了できるでしょう。

★ロータリー未来の夢計画

さて、皆さんから寄付の総額は毎年 5000 万くらいになりますが、この半分は地区に戻ってきていろいろなプログラムにお使いいただけます。あとの半分は国際奉仕プログラム（マッチンググラント）に多くが使われます。この半分かをいかに地区に取り戻してくるかというのが、我々地区財団委員の大切な仕事であると思っています。

2013-2014 年度ロータリー財団は大きく変わります。大きく分けると 4 つのプログラム（ポリオ・教育的プログラム・新地区補助金・グローバル補助金）になります。新地区補助金とは、地元の奉仕で使えるお金です。グローバル補助金というのは、海外に向けての奉仕に使うものです。金額は 3 万ドル以上のプロジェクトでなければお金は出ません。ですから、2013 年の 2 月にはどのようなプロジェクトをしたいかをクラブとして申請しなければ間に合いませんので、長期的な視野でクラブの考えを決めていかなければなりません。

もっとたくさんご説明をしなければ分かりにくいかなと思います。今日お配りした資料などをお読みいただき、興味を持っていただくことがまずは大切なのではないかと思う次第です。

●ニコニコ BOX 発表 (工藤 開光親睦委員)

○佐藤会長
地区財団委員長鈴木義明様、本日の卓話ありがとうございました。

○比留間会員
ロータリー財団鈴木委員長様、安保副委員長様、本日はご多忙のところありがとうございました。

・蜂巣幹事
鈴木地区ロータリー財団委員長様、安保副委員長様、本日はご来訪ありがとうございました。

・石岡会員
鈴木様、本日は卓話ありがとうございました。申し訳ありません、バッチを忘れてしまいました。

・伊藤会員
鈴木様、卓話ありがとうございました。

・小島会員
鈴木様、安保様、本日はありがとうございました。

・内藤会員
ロータリー財団鈴木様、本日は宜しくお願い致します。

・西野会員地区財団委員長
鈴木様、補助金委員長安保様、本日はありがとうございました。

・前澤会員
鈴木委員長、本日はご多忙の中、卓話ありがとうございました。

・山中秀一会員
地区ロータリー財団鈴木義明委員長宜しくお願い致します。

●出席報告 (石岡 孝光出席委員長)

会員数	44 名
出席義務会員	41 名
本日の出席	25 名（メイクによる出席者数を除く）

●委員会報告 (荒川 義昭会員)

クリスマス例会ですが、当初 12 月 14 日（水）を予定しておりましたが 21 日（水）に変更になりました。

本日の例会終了後、指名委員会を開催いたしますので指名委員の方々はご出席をお願いいたします。

●次週例会予定 (荒川 義昭プログラム委員長)

11 月 23 日（水）
祝祭日 休会

11 月 30 日（水）
移動例会「全員参加で大いに語る」

●閉会点鐘 (佐藤 義弘会長)